

2014年 2月 14日

新宿区長 へ

法人名(特)あそびと文化のNPO
 新宿子ども劇場
 所在地 新宿区北山伏町2-17
 ゆったり～の共同事務所
 (フリガナ) ノリマツヨシミ
 代表者氏名 理事長 乗松好美

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	文化で地域づくり アートの花を (新宿フィールドミュージアム2013)
実施日時又は期間	実行委員会 (計30回) 2013年4/27～12/15 ワークショップ (計4回) 2013年10/11, 13 11/1, 8 公演会 (計5回) 2013年11/4, 16, 17, 23, 24
対象者の範囲及び人数	新宿区および近隣地区 (新宿区在住の方が95%) 0才～高齢者 のべ1119名
事業内容	<p>準備期間を経て4月から新宿区内5つの地域(淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域)で地域実行委員会を組織し、目的、対象、コンセプト(地域において、地域の大人が子どもたちへ劇をプレゼントする)を確認し、各地域の実情に合わせながら計画、当日運営を含めすべてに子ども劇場理事会が責任持ち、実行まとめを行った。</p> <p>「新宿フィールドミュージアム2013」(文化月間)の10月・11月を中心に5地域で文化体験活動のワークショップを行い、観劇会を行った。</p> <p>公演については「すべての子どもたちに文化活動を!」と願い、地域貢献も考慮し子どもに対しては無料にすることで、すべての子どもたちが参加できる環境づくりをした。</p>
具体的な活動状況	<p>●実行委員会 (計30回・のべ284名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体 7/14・9/14・10/14・12/14 計4回 参加者のべ60名 ・落合地区(落合第一・落合第二) 6/5・10/2・10/5・10/10・12/7 計5回 参加者のべ21名 ・牛込地区(笹笥町・榎町) 7/13・9/7・10/13・12/7 計4回 参加者のべ34名 ・大久保地区(大久保・戸塚) 4/27・6/15・8/28・9/28・10/26・12/8 計6回 参加者のべ83名

	<ul style="list-style-type: none"> ・四谷地区（四谷・若松町） 6/5・9/17・10/11・12/15 計4回 参加者のべ48名 ・淀橋地区（柏木・角筈） 5/5・6/23・7/20・10/14・10/20・11/9・11/30 7回 38名 ●ワークショップ（計4回 のべ124名） ・10月11日「大友剛 手作り楽器ワークショップ」四谷地域センター 参加者：29名（子ども16名 大人13名） ・10月13日「ジン・マサフスキーのマジック教室」牛込箆笥地域センター 参加者：28名（子ども17名 大人11名） ・11月1日「お話し会」西新宿児童館 参加者34名（子ども15名 大人19名） ・11月8日「モンちゃんのマジックワークショップ」 新宿NPO協働推進センター 参加者：33名（子ども20名 大人13名） ●公演（計5回 のべ711名） ・11月4日「大友剛 マジックと音楽と絵本のコンサート」聖母ホーム 参加者：122名（子ども48名 大人74名） ・11月16日「大友剛 マジックと音楽と絵本のコンサート」四谷区民ホール 参加者：152名（子ども73名 大人79名） ・11月17日「アンディー先生のストリート・マジック」 新宿NPO協働推進センター 参加者：248名（子ども133名 大人115名） ・11月23日「おはなしポロロン 徹の部屋」角筈地域センター 参加者：73名（子ども30名 大人43名） ・11月24日「ジン・マサフスキーのサイレントコメディーマジックショー」 牛込箆笥地域センター 参加者：116名（子ども58名 大人58名）
事業の成果	<p>区内5か所（淀橋・落合・大久保・牛込・四谷地域）でワークショップ・公演に述べ835名（区内在住者95%）の方が参加した。</p> <p>各地域の実行委員会が公演を企画、運営することで、主体的に活動に関わる委員が増え各自がもっているスキルが発揮された。また委員同士の活発な意見交換が行われ、子ども達と共に自分たち自らが創る公演になった。</p> <p>子どもの生活圏を考慮し、地域密着の新たな場所の可能性が広がった。落合地域では、聖母ホームでの公演が2年越しで開催できた。地域にありながら、その存在や役割を知る機会がなかったが、今回公演を行うことで交流がはかれ、今後のホームでの文化芸術活動の提案につながった。さらに、入居者の方と子どもの三世代交流が果たされたことも大きな成果である。大久保地域では、新しく出来た新宿NPO協働推進センターを会場としたことで多くの方に足を運んでもらうことでセンターの認知度アップに貢献した。淀橋地域では、ワークショップを西新宿児童館で開催したことで、石巻出身の館長と出演者のつながりが出来、東北被災者支援のラジオでの紹介につながった。また実際に公演を観てもらえたことで、活動内容を周知してもえ当団体のつながりの強化になり、地元の企業ともつながる機会になったことは意味が大きい。</p> <p>「子どもにステージのプレゼント」というコンセプトがはっきりしていたので、より多くの町会・PTA・民生児童委員などへ広報活動が活発にされた。子どもが自分の友だちと一緒に観たいと声をかけ、人から人へ広がり、親子で共有・共感する文化体験ができた。参加された方のアンケートにも「親子で見られて楽しかった」「こんな近くでマジックがみられて楽しかった」「同級生と</p>

	<p>見られたのでさらに楽しかったようです」と多数の満足した回答が得られた。</p> <p>しかし今後も継続していくために助成金だけではなく支援者によって多くの広がりを作るため寄付を募っていくのは、まだまだである。安定した事業努力のために次年度の課題として取り組んでいきたい。</p>
--	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			563,587円
	参加費・資料代等	ワークショップ参加費 11,700円 チケット 194,000		205,700円
	その他の収入	寄付		24,600円
	協働推進基金助成金	助成金申請額		500,000円
	計			1,293,887円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	57,490円	実行委員会会場費 22,650円 ワークショップ会場費 9,400円、 公演会場費 24,050円、資料コピー1390円	
	宣伝費	44,950円	チラシ 31,950円 チラシデザイン謝礼 13,000円	
	リース費	0円		
	消耗品費	39,237円	封筒、文具等 7,782円、チケット・チラシ 11,030円、 養生テープ 3,835円、マット 11,960円、プリンターインク 4,630円	
	謝礼	518,000円	ワークショップ3か所 90,000円（30,000円×3か所） スタッフ 9,000円（3,000円×3名） 公演謝礼 340,000円（30,000円×2名×4か所+30,000円×3名+10,000円） スタッフ 51,000円（3,000円×17名） 実行委員会 28,000円（2,000円×2回×7名）	
	人件費	110,000円	公演スタッフ 69,000円（3,000円×3名×5か所+3,000円×8名） 実行委員会 32,000円（2,000円×2回×8名） ワークショップスタッフ 9,000円（3,000円×3名）	
	材料費	8,400円	ワークショップ材料費 300円×28名	
	交通費	23,628円	ワークショップ 9,194円 公演 14,434円	
	その他諸経費	14,085円	送料 14,085円	
助成対象事業費（小計）		815,790円		
余剰金		円		
助成対象外事業費		478,097円	対象外会場費 18,450円 公演料差額 ジンマサフスキー63,227円、13,438円 ストリートマジック 44,950円、大友剛 91,500円 対象外実行委員会謝礼 216,000円 食費他 30,532円	
事業総額			1,293,887円	

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	地域の大人たちが子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに開催した。述べ 410 名の子どもたちが無料で親や友だち・近所の人たちなど身の回りにいる人たちと、自分たちの生活する地域で文化体験をすることができた。「新宿フィールドミュージアム 2013」に全ての事業を掲載することで、たくさんの方に、事業を告知することが出来た。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	委員会を構成していた 30～40 代の子育て世代が主体的に関わったことで、「私にもできる身近な取り組み」として活動を実感し達成感を得たことで地域の担い手として育っている。そして、参加者には身近な場所で親子や友だち、さまざまな異年齢の子どもが集まり、地域の人と 3 世代交流も自然と行われ、そこでの共通の文化体験をすることで、人と人がつながりコミュニティーが広がった。この活動を継続的に行うことで文化活動での地域コミュニティーの掘り起こしが図れる。子どもをとりまく文化が大切だ、必要だと思ってくれる理解者・支援者を増やすことで、まだ出会っていない子どもたちも含め、文化体験の機会をさらに増やすことができる。そのことで、文化豊かな地域コミュニティーが創出されることが見込まれる。
費用対効果は適正であったか。	費用に対して参加者プラス理解者や支援者を増やせたことを考えると適正だった。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	活動へのニーズがとても高い事が今回事業をとおして、把握出来た。今後も活動を継続的に続けていくことが文化体験を地域コミュニティーに根ざしていくには大切である。そのためにさらなる支援者・理解者を増やす努力が必要である。しかし、子どもたちにより良い公演を開催するには演目によっては経費が高いこと、適正入場者数などで採算が合わない場合がある。今後、市民性社会性のある NPO として区内の子どもたちを視野により公益的な活動を行う上でも認定 NPO の取得を目指していきたい。 その他、利用施設の利用上の制限（生の音楽の制限・観客数への制限）があることで活動への制約が出てくる事が問題として見えてきた。
理解者や支援者が広がったか。	「すべての子どもたちに文化活動を！」と願って、子どもに対しては無料にすることで、多くの対象世帯へ広報がしやすかった。まだまだ支援につながった人は少なかったが、町会・PTA・スクールコーディネーター・民

	<p>生児童委員など様々な活動を地域でしている方々へ理解を求める努力はされていた。</p>
<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>事務職を各委員会で分担することが可能となってきている。当初、事前の振り込み、当日渡しのチケットの管理がうまくいかなかったが、2回目以降は修正して問題なくこなせた。</p>
<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>一番は、この子どもに地域のおとなが舞台をプレゼントすることが定着することであろう。地域によっては、寄附者や支援者を増やしたが、全部の地域にはまだまだである。</p> <p>地道な努力としては、公演への来場者数を増やすことである。各地域の公演は希望参加人数に近い人を動員できた(会場によっては入場者数制限があり断りが発生している)ことで収入を増やす努力がされた。またその為には地域のニーズに合った演目の設定と参加しやすい会場と時間設定が重要になってくる。今後もその点を考慮しながら企画をする必要がある。その上で、さらなる支援者・理解者を増やすために、地域の中にある他団体との横のつながりを広めていく活動のきっかけが各地域で見えてきた。</p>
<p>その他</p>	<p>今回、助成金対象事業になったことで会場を事前に抑えられた。このことで事業計画がとても立てやすく、また、公演もよい条件の中で開催することが出来たことは、たいへん有効であった。また、「新宿フィールドミュージアム 2013」への掲載やチラシの公的機関への配布ができ、多くの対象者に知らせる事が出来た。</p>

4 活動の成果

*事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
*参加者の意見なども報告してください。

1) 実行委員会

各地区の委員会では、チラシの作成、広報の仕方の相談、ワークショップの進行確認、当日のスケジュールの確認、会場づくりの方法などが話し合われた。

全体では、各地区の進捗状況を確認し、共用・協力できるところ、各地区で取り組むことを確認しながら、より効率的に統一感をもって進める。



6月5日 四谷地区実行委員会
四谷地域センター



9月28日大久保地域実行委員会
NPO推進センター

2) 10月～11月 ワークショップ 区内4か所 【参加費 無料】

①モンちゃんのマジック教室「マジックに挑戦」 講師：モンブラン

11月8日(金)新宿NPO協働推進センター 18:00～19:00

参加人数：33名(大人13・子ども2) スタッフ：4名

内容：マジックの実演を見た後に実際にマジックを講師に教えてもらい参加者が挑戦した。
ハンカチ・コイン・割り箸を使ったマジックをおこなった。



②ジン・マサフスキーのマジック教室「今日からマジシャン」 講師：神谷 雅喜

10月13日(日) 牛込算笥地域センター 14:00～16:00

参加人数：31名(大人11・子ども20) スタッフ：5名

内容：マジック・パントマイムについて実演を交えながら説明。マジック3種類を実際に練習。
その後、みんなの前で習った手品を披露。参加者の公演当日への期待が高まった。



③大友 剛 手造りワークショップ「作って・鳴らして・あそんじゃおう」 講師：大友剛

10月11日（金） 四谷地域センター 17：30～18：00

参加人数：25名（大人10・子ども15） スタッフ：9名

内容：ペットボトルに小豆・コーン・米・砂・小さな石・ストロー等を好きにいれ音の違いを楽しむ。新聞でいろいろな音を出し、破る、まるめるなど紙の音も楽しむ。最後にピアノとピアノを使った演奏会をおこなった。



④おはなしポロロン 徹の部屋 出張編 講師：杉原 徹・斎藤 一馬

11月1日（金）西新宿児童館 10：30～11：15

参加人数：34名（大人19・子ども15）

内容：保育士さんによるお話の会よりわらべうたと徹&一馬で詠み語りとギター弾き語りのミニライブ。



3) 各地域の観劇会 【参加費：子どもは無料・大人 1000円】

①淀橋地域公演

「おはなしポロロン 徹の部屋」 ギターの引き語りのお話会

11月23日（土・祝） 角筈地域センター8階 14：00～

参加人数：73名（大人43・子ども30） スタッフ人数：4名

講師：杉原 徹・斎藤 一馬

内容：現役保育士さんによる素話（たんぼこたん・ひとりふたりさんにんの子ども・スヌークさん一家）の発表と徹さんと一馬さんの息のあったギターの弾き語り、徹さんの詠み語り（みずいろのマフラー・ほしのはなし）小さな子どもからお年寄りまで三世代で楽しめた。



②落合地域公演

「マジックと音楽と絵本の親子コンサート」

11月4日（月・祝） 聖母ホーム 14：00～

参加人数：120名 スタッフ人数：10名

講師：大友 剛

内容：念願の聖母ホームでの開催が出来た。ホームの中心にホールがあり、移動できない入所者の方には部屋にいてもコンサートの様子が伝わり、移動できる方は地域の子どもたちと一緒に楽しむことが出来た。

コンサートは簡単なマジックから本格的なものも入れての導入的なマジックがあり、その後ピアノとピアノカの演奏、年代別にリクエストを聞き、即興演奏と共に参加者が合唱した。最後に「ねこのビート」の本の読み聞かせがあり、映像を見ながら歌声が響き会場全体が、一体となった。



③大久保地域公演

「アンディ先生のストリート・マジック」

11月17日（日） 新宿NPO協働推進センター2階多目的室 14：00～

参加人数：248名 スタッフ人数：35名

講師：アンディ先生・モンブラン

内容：カード・ハンカチなどの小道具を使ったマジック、イリュージョン。プロジェクターに映す手元でおこなうマジック。スタートはモンブランが平土間に座っている子どもたちの目の前で手品を披露。アンディ先生は本格的マジックを舞台や平土間と会場全体を使って披露。参加者も引き込んで次から次へマジックが披露されあっという間の1時間30分でした。



④牛込地域公演

「ジン・マサフスキーのサイレントコメディーマジックショー」

11月24日(日) 牛込箆笥地域センター 14:00～

参加人数:116名 スタッフ人数:13名

講師:神谷 雅喜

内容:チラシを配布した途端、チケット申し込みが殺到して会場の許容範囲を越してしまい、80名近く断らなくてはならない状態だった。

ジンさんのパントマイムとマジックがすぐそばで見られて、大人も子どもも楽しめた。子どももマイムを交えて参加し会場全体で楽しめた。



⑤四谷地域公演

「マジックと音楽と絵本の親子コンサート」

11月16日(土) 四谷地域センター 15:00～

参加人数:152名 スタッフ人数:20名

講師:大友 剛

内容:落合の公演内容と概ね同じ内容の演目で構成された。ワークショップに参加した子どもも多く来ていたので、ペットボトル楽器での演奏も加わった。世代別にリクエスト曲を演奏してくれ、それぞれの世代で音楽が楽し世代交流も広がった。



4) まとめ会議開催

各地域の実行委員会で公演会の振り返りを開催。アンケートの集計も含め実行委員会では、当日手伝ってくれた子どもの意見もききながら(地域による)今年度の課題と成果、来年度の向けての話が進められた。

